

令和7年度 教育計画						学校番号 007	
宇和島市立住吉小学校							
校長名	和田 幸久	学級数	9 (3)	児童数	185	教職員数	14

学校教育目標

住吉を愛し、夢を持ってたくましく生きる児童の育成

目指す児童像

確かな学力

【意欲を持って
自ら学ぶ子】

豊かな心

【力を合わせて
進んで働く子】

たくましい心身

【仲良く遊ぶ
元気な子】

「あいさつが響く」「ありがとうが響く」「えがおが届く」学校
～学び合い、認め合う場～

【確かな学力】

- 基礎・基本の定着
- ICTの効果的な利活用
- 多様な見方・考え方の共有

【環境の整備】

- 安全・安心な環境づくり
- 学び合える人間関係の構築
- 交流と体験の場の確保
- 言語環境の整備

【豊かな心】

- 心に響く道德教育の推進
- 奉仕活動の充実
- 挨拶運動の推進
- 立腰指導の推進

【たくましい心身】

- 基本的な生活習慣の確立
- 外遊びの推進
- 課外活動の充実

学校・家庭・地域がともに歩む“チーム住吉”

コミュニティ・スクール

家庭

～心安らぐ場～

- 挨拶と団らん
- 基本的な生活習慣の確立
- 家庭学習の充実

地域

～出会い・体験・貢献の場～

- ヒト・モノ・コトとの交流
- 文化と歴史の伝承
- もてころ精神の醸成

本校の土台 大きな石は俺にもてころ

校訓

重点 目 標	<p>1 コミュニティ・スクールの推進</p> <p>(1) 学校運営協議会を中心に、地域との信頼関係を基盤として学校、家庭、地域の協働体制を構築する。</p> <p>(2) もてころサポーターの協力を得て、児童の奉仕の心を育成する。</p> <p>2 基礎・基本の定着と活用力の向上を目指した確かな学力の育成</p> <p>(1) 学ぶ目的や意味を理解させ、分かる喜びや楽しさを児童に実感させながら、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。</p> <p>(2) ICTを効果的に活用し、一人一人の習熟に応じたきめ細かな支援と、多様な見方・考え方の共有を目指した授業展開を図る。</p> <p>3 一人一人を見つめる生徒指導の充実と人権教育の推進</p> <p>(1) 相手の立場を考えた思いやりのある言動を定着させ、互いを認め合うことで仲間意識を育てる集団づくりを推進する。</p> <p>(2) 人権尊重の理念に基づき、自他のよさを認め、互いに尊重し合い、共に生きる人権・同和教育を推進する。</p> <p>(3) 性に関する指導を通して、命の尊さや多様性についての理解を深め、「生命（いのち）の安全教育」を推進する。</p> <p>4 健康でたくましい心身の育成</p> <p>(1) 体育科の授業を充実させるとともに、外遊びや放課後の課外活動に積極的に取り組み、心身の健全な成長を目指す。</p> <p>(2) 「早寝、早起き、朝ごはん」を定着させ、基本的な生活習慣や健康習慣の確立を図る。</p> <p>5 特別支援教育の充実</p> <p>(1) ユニバーサルデザインの考えに基づき、児童の特性に応じた学級づくり・授業づくりを推進する。</p> <p>(2) 特別支援教育コーディネーターを中心に、児童一人一人の教育的ニーズに応じた個別最適な学びの在り方についての研修を深めるとともに、教育活動を充実させる。</p> <p>6 防災・安全教育の推進</p> <p>(1) 「自分の命は自分で守る」という意識を高めるとともに、安全教育を計画的に実施し、児童に自助・共助の態度を身に付けさせる。</p> <p>(2) 学校を取り巻く様々な環境を基に、多様な想定での避難訓練を実施し、児童一人一人に危険を察知する能力及び危険を回避する能力を身に付けさせる。</p>
管 理 運 営	<p>1 人的管理</p> <p>(1) 温かい人間関係に基づく責任体制・協働体制が確立された職場づくりに努める。</p> <p>(2) 校務分掌の明確化や業務内容の精選に努め、業務改善を推進する。</p> <p>(3) 地域学校協働活動推進員及びスクール・サポート・スタッフと連携・協働することで、教職員の長時間労働の改善及び心理的安全性の確保と健康の保持増進を図るとともに、子供と向き合う時間を確保する。</p> <p>2 物的管理</p> <p>(1) 教職員の危機管理意識の高揚と安全・安心な教育環境づくりに努める。</p> <p>(2) 施設・設備・備品の計画的な整備と効果的な活用に努める。</p> <p>3 事務管理</p> <p>(1) 城北共同学校事務室との連携を図り、適正で迅速な事務処理に努める。</p> <p>(2) 個人情報の保護並びに校納金等の財務管理の徹底を図る。</p>
本 校 教 育 の 特 色	<p>本校は、昭和 51 年より、森岡天涯氏の言葉「大きな石は俺にもてころ」を校訓とし、この奉仕の精神を土台として、日々の教育活動に取り組んでいる。この奉仕の精神は、児童のみならず、保護者や地域住民にも脈々と受け継がれている。この校訓の下、地域学校協働活動を推進し、知・徳・体のバランスの取れた児童の育成に、学校・家庭・地域が協働しながら取り組んでいる。</p> <p>今後、本校の特色を生かしながら、一人一人のウェルビーイングと包摂的で持続可能な地域社会の共創を目指して、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を通して、地域とともに歩む学校づくりに努める。</p>